

霧島山(新燃岳)の地震活動・地殻変動*

Seismic activity and crustal deformation of Kirishimayama volcano (Shinmoe-dake)

防災科学技術研究所**

National Research Institute for Earth Science and Disaster Prevention

2011年8月1日から2012年2月10日までの期間における地震活動と地殻変動について報告する。

第1図は防災科研火山観測網の定常処理でおこなっている震央分布図である。新燃岳直下には高周波および低周波地震が発生している。2011年9月以降、低周波地震の発生数が低下している。KRMV直下(第1図①域)では、11月中旬にごく小規模な地震活動が見られた。

第2図は、2011年6月から2012年2月10日までの基盤的火山観測点(KRMVとKRHV)の傾斜変動図である。KRMVとKRHVの傾斜変動は、2011年9月以降おおむね北西下がりである。

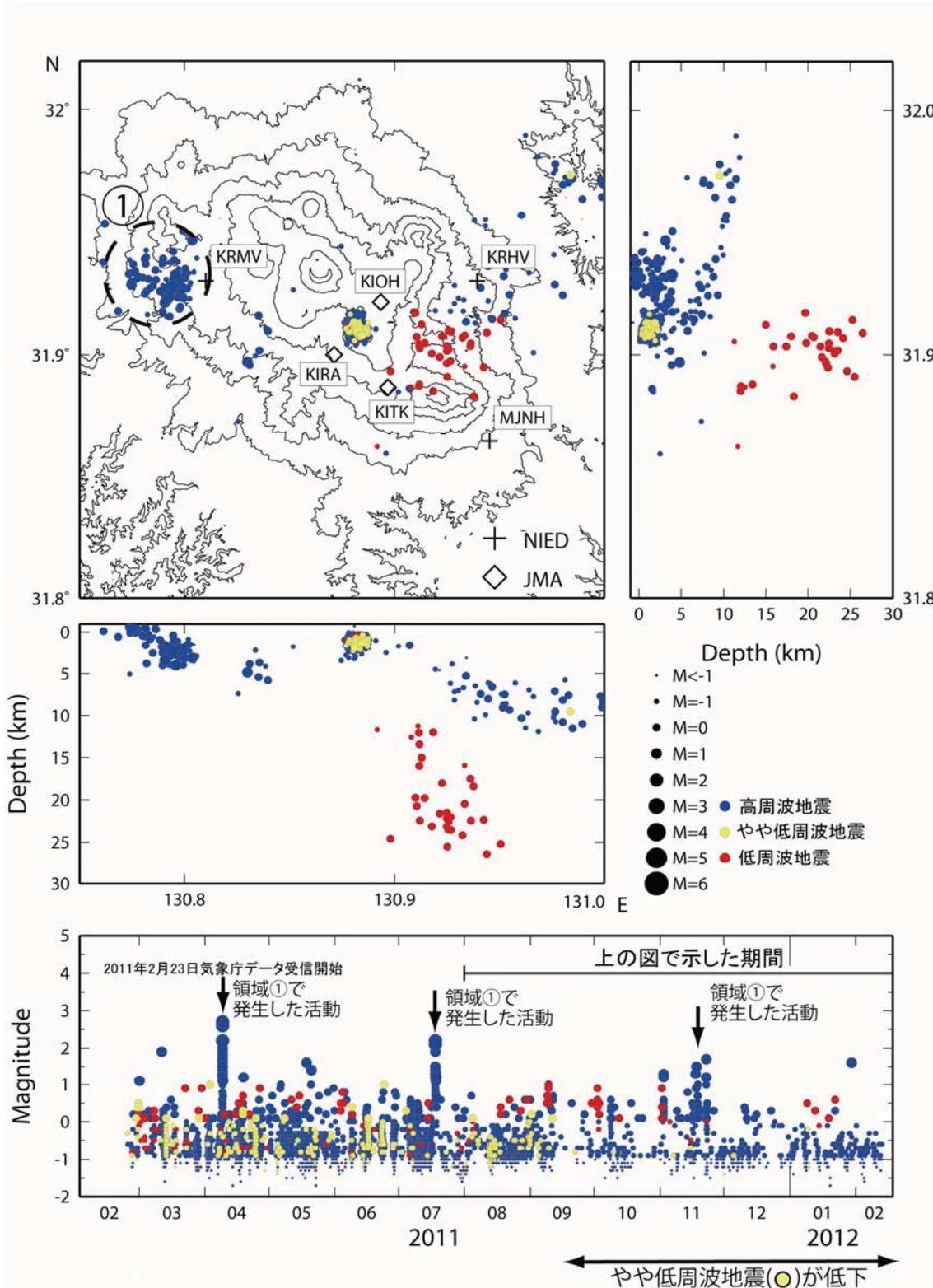
第3図のGPS解析結果によると、新燃岳をはさむ基線(KRHH-KRMV)では2011年11月下旬から基線の伸びがそれ以前に比べ鈍化し、2月現在まで基線長の変化が顕著に認められなくなった。

* 2012年4月2日受付

** 棚田俊收, 河野裕希, 上田英樹, 藤田英輔, 小園誠史, 長井雅史, 鶴川元雄

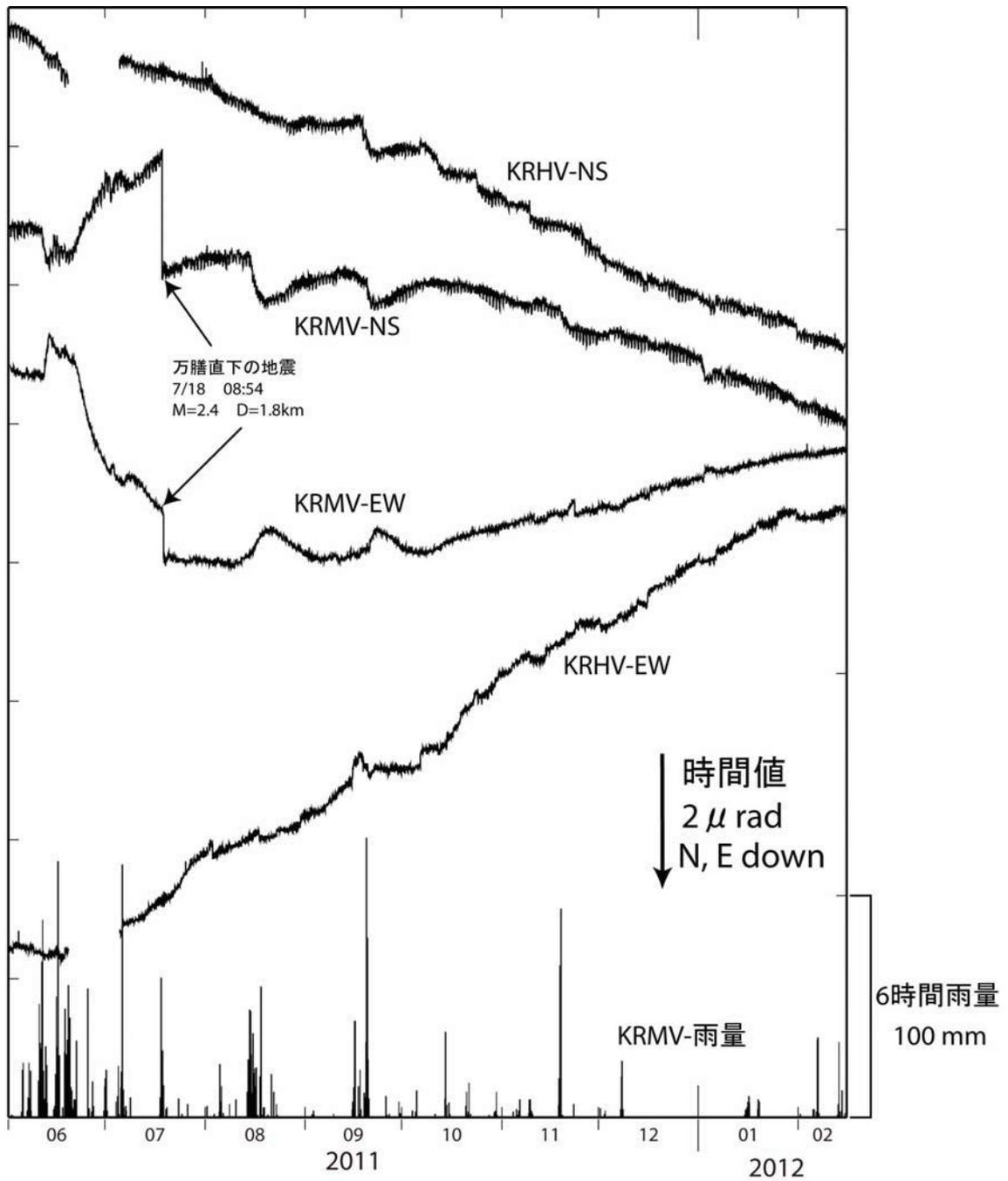
Toshikazu Tanada, Yuhki Kohno, Hideki Ueda, Eisuke Fujita, Tomofumi Kozono, Masashi Nagai, Motoo Ukawa

霧島山の地震活動(2011/8~2012/2/10)



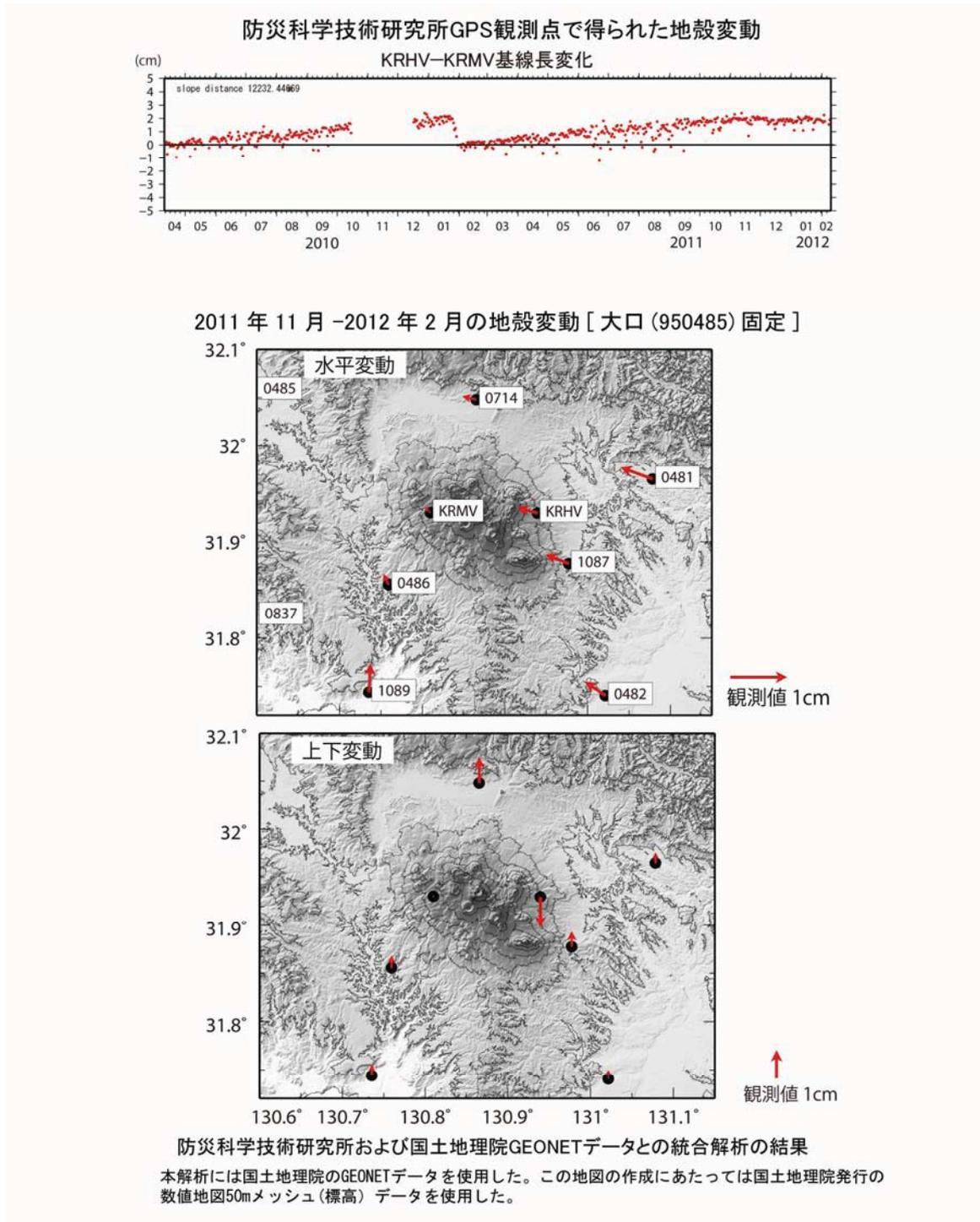
第1図 霧島山の震源分布図(2011年8月1日から2012年2月10日)。この地図は、国土地理院発行の数値地図50mメッシュ(標高)を使用したものである。

Fig.1 Hypocenter distribution around Kirishimayama Volcano(August 1, 2011 to February 10, 2012).



第2図 防災科研の傾斜計変動図(2011年6月1日から2012年2月10日)

Fig. 2 Tilt changes of NIED tiltmeter (June 1, 2011 to September 26, 2012).



第3図(上段) 防災科研 KRHV と KRMV との間の基線長変化図

(下段) 防災科研のGPSと国土地理院GEONETの統合解析によって得られた地殻変動

Fig. 3 (Upper) Baseline length change between KRHV and KRMV of NIED.

(Bottom) Observed displacement vectors at GPS stations of NIED and GSI relative to Ooguchi(950485) for the period from November 2011 to February 2012.